

令和元年度 第1回 伊賀市環境審議会 議事録

開催日時：令和2年2月7日（金） 午後1時30分～午後2時30分

開催会場：伊賀市環境センター 体験研修室

出席委員：森西委員、西村委員、福田委員、上出委員（団体被推薦委員）

寺島委員、（学識経験委員）

田中部長、前澤生活環境政策監

水瀧課長、山本主幹、山本主任（事務局）

欠席委員：澤野委員、東委員、塚脇委員

議事事項：1. あいさつ

2. 会長、副会長選任

3. 議事録署名委員の指名

4. 伊賀市土砂条例について

5. 平成30年度伊賀市役所温室効果ガス排出量の報告

6. その他

議事内容：以下のとおり

（開会 13：30）

【1. あいさつ】

〈田中部長あいさつ〉

本日は公私ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。

平素は市政全般にわたり、また環境行政には特にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨今、地球温暖化に伴う気候変動の影響が各地で見られるようになってきています。昨年は大型の台風19号が、東日本で多大な被害をもたらし、特に長野県では千曲川の堤防が決壊し、大規模な浸水被害が発生しました。そのため、長野市等で発生した災害廃棄物につきましては、当市内でも一部の処理を行っています。このような状況の改善については、早急な対策が必要であり、持続可能な開発目標が示されているSDGsに基づいた取組みを進める必要があります。当審議会においても、このような取組みを進めるべく、自然環境の保全、公害防止対策等について、ご審議をお願いしています。今回は、土砂条例と市役所の温室効果ガスの状況についてお話しをさせていただきます。専門的なご意見等、いろいろなご意見をいただき、今後の環境行政に役立てたいと思いますので、活発なご審議をよろしくお願いします。

【2. 会長、副会長選任】

事務局案の提示を求められたため、寺島委員を会長に、上出委員を副会長にする案を提示し、了承を得た。

【3. 議事録署名委員の指名】

事務局から今回の議事録署名委員として、福田委員、森西委員にお願いし、了承を得た。

【4. 伊賀市土砂条例について】

〈事務局：水瀧課長〉

（資料1に基づき伊賀市の土砂条例の概要について、資料2に基づき三重県の土砂条例の概要及び今後のスケジュールについて説明する。）

〈寺島会長〉

ただいま事務局からご説明いただいた内容を整理しますと、市の条例は先行して制定されており、市外から土砂が持ち込まれる場合、1千㎡又は1千㎡を超えるものについては届出が必要ということであり、どちらかと言えば理念的なものです。施行状況については、これまで7千㎡を超える埋立について1件の届出があり、特に大きな問題は起こっていないとのこと。今回三重県は3千㎡以上のものについて、規制をする条例を制定しました。この県の条例は、許可制であり、罰則もありますので、3千㎡以上のものについては、罰則等の無い市の条例を適用せずに、県条例を適用するため、市の施行規則を改正するという事です。

私は妥当な判断だと思います。このことについてご意見等ございませんか。

〈福田委員〉

市の条例は、市外からの持込みについて、規制するようですが、市外からのものと市内からのものは、どのように判断するのですか。

〈水瀧課長〉

市外から持込む場合は、発生した場所について届出をしてもらい、把握します。市内については、主に市内の事業者が行いますし、市民が監視していますし、現場も確認できますので、わかります。

〈福田委員〉

わかりました。次に、市の条例で、土地所有者の同意取得や周辺住民への説明が必要となっていますが、周辺の方の同意や自治会の同意を必要とするようには出来ないのですか。

〈水瀧課長〉

近年、全国的に条例で同意を義務づけることは難しいようです。理由としては、同意した方の責任が問われたり、相当の理由なしに同意をしないことによって事業が行えない場合、裁判になると負けの判例が多いためということがあるようです。

〈福田委員〉

わかりました。最後にもう一つ質問があります。土砂を積上げる場合は、目立つので、事業者も良いところを選ぶと思いますが、埋立てる場合は、目立たないので、あまり良く無いのを持ってくるように思います。そういうのは、どうやって確認しますか。

〈水瀧課長〉

市外からの土砂の搬入については、発生する場所ごとに届出をしてもらいますので、その発生場所を確認することで、良いか悪いかを判断します。

〈上出委員〉

建設現場から出たものは、コンクリート殻やがれき等、廃棄物が混じっている場合もあるかと思いますが、埋まってしまったらわからないので、どのように確認をするのですか。

〈水瀧課長〉

埋立現場立入り検査もしますし、市外からの土砂の持込みについては、必要に応じて、届出のあった発生場所も確認します。

〈福田委員〉

市の条例はいつぐらいにできたのですか。

〈水瀧課長〉

できたのは2年ほど前です。

〈寺島会長〉

市の条例が制定された際、議会のほうから、施行後3年以内に見直しが必要かどうか検証をして下さいという付帯決議がつけられているようです。また、昨年末に三重県が土砂条例を制定しましたので、それに伴い市の条例施行規則を若干修正するという報告がありました。いろいろとご意見もあるようですが、本日の会議で何かを決めなければいけないということでは無く、経過報告が主なようです。その他にご意見などはございませんか。

〈全委員〉

特に有りません。

〈寺島会長〉

特に無いようですので、次の項目に行きたいと思います。

【5. 伊賀市環境マネジメントシステムの実績報告について】

〈事務局：山本〉

(資料3に基づき、伊賀市役所の温室効果ガス排出状況等について説明する。)

〈寺島会長〉

資料3のグラフを見ますと、平成19年度から排出量は年々削減傾向にあるようですが、平成29年度は少し増加したようですね。どのような理由が考えられますか。

〈事務局：山本〉

平成29年度は、さくらリサイクルセンターの機器の故障が多く、効率的な運転ができなかったことが原因と思われます。

〈寺島会長〉

分かりました。事項書5について、他にご意見等ございませんか。

〈全委員〉

特に有りません。

〈寺島会長〉

特に意見が無いようですので、次の項目に行きたいと思います。

【6. その他】

〈水瀧課長〉

今後の日程についてですが、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定を行う予定であるのと、環境基本計画を2年間かけて策定しようと思っています。まず1年目である令和2年度中に実態調査として市民にアンケート調査を実施し、2年目はアンケート結果を基に計画を策定します。環境基本計画については審議会に諮問したいと考えています。

〈寺島会長〉

来年度どのくらいの回数、審議会を開催される予定ですか。

〈水瀧課長〉

来年度は1回か2回、再来年度は3回くらい開催の予定です。

（閉会 14：30）

議事録について、上記のとおり顛末を録し、ここに署名します。

令和2年2月20日

議事録署名委員 伊賀市環境審議会委員 森 西 博 美 ⑩

議事録署名委員 伊賀市環境審議会委員 福 田 正 俊 ⑩